

事務局（井上課長） 本日は、ご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から令和元年度第1回函館市戸井地域審議会を開催いたします。

本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の定めにより、公開としております。

また、傍聴人数につきましては、会場の都合もあり20名としておりますので、この点もご了承願います。

それでは、会議開催にあたり、松田会長からご挨拶を申し上げます。

松田会長 皆さん、こんにちは。

令和元年度第1回函館市戸井地域審議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、昆布漁をはじめマグロ・イカ漁と盛漁期の大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の議題は、前回の意見集約結果と取組状況について、平成30年度事業報告と地域振興全般に関する意見交換が議題となっております。

皆様のご協力により会議を進めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日は企画部および各課長にもご出席をいただいておりますので、説明の際にはどうぞよろしくお願いいたします。

簡単でございますが開会の挨拶といたします。

よろしくお願いたします。

事務局（井上課長） 会長ありがとうございました。

続きまして、高橋支所長からご挨拶を申し上げます。

高橋支所長 皆様、こんにちは。戸井支所長の高橋でございます。

令和元年度第1回函館市戸井地域審議会の開会にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、昆布漁の盛漁期の大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃から地域振興はじめ、市政運営各般あたりましてご理解とご協力を賜りまして、心からお礼を申し上げます。

本日は、ただ今松田会長からもお話がありましたが、今年度の第1回目の地域審議会でございます。前回の会議でいただいたご意見等の集約結果と取組状況についての報告のほか、平成30年度の合併建設計画の実績報告についてご議論していただくことになっております。

また、地域振興全般におきましても意見交換を予定しておりますので、皆さまの忌憚のないご意見、ご提言をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

簡単ではありますが、開会にあたってのご挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（井上課長） ありがとうございました。

ここで、委員の交替がありましたので、ご報告いたします。

日新中学校PTA会長さんが、4月に変わりました。石田委員が退任されまして、新たに大和委員が就任されています。

本日は、ご都合により欠席されております。

続きまして、本日出席しております、企画部の職員を紹介します。

企画部計画調整課坂田主査です。

坂田主査 坂田です。よろしくお願いいたします。

事務局（井上課長） 同じく上戸主事です。

上戸主事 上戸です。よろしくお願いいたします。

事務局（井上課長） それでは、本日の出席委員の報告を行います。

所用により、宮崎委員、佐藤委員、大和委員が欠席しておりますので、出席委員は12名でございます。

続きまして、資料の確認をお願いします。

事前に配付している資料は、会議次第と資料1「地域審議会意見・要望書」2枚ものになります。

資料2 合併建設計画事業実績一覧（平成30年度）でございます。

また、本日、座席表と戸井支所および戸井教育事務所の機構表、また、前回の会議録を机上配布しておりますので、ご確認をお願いします。

事務局（井上課長） それでは、議題に入ります。

会議の進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の定めにより、会長が議長を務めることになっておりますので、以後、松田会長に議長をお願いいたします。

松田会長 地域審議会の設置に関する規程、第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。

お手元の会議次第に沿い、進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

松田会長 それでは、議題1 前回の意見等の集約結果と取組状況について、担当課から説明をお願いします。

（井上地域振興課長 挙手）

松田会長 井上地域振興課長

井上地域振興課長 お手元の資料1 地域審議会の意見要望書をご覧いただきたいと思

1 ページ目になりますが、平成31年3月26日に開催しました平成30年度第4回の地域審議会におきまして、植野委員からご質問がありました市営住宅の入居募集について説明をさせていただきます。

ご質問の内容は、市営住宅の浜町西団地が、19戸入居できる住宅となっているが、現在7戸が空き家となっている。

小安西団地の入居募集は、「市政はこだて」で見えるが、浜町西団地の入居募集の掲載を見ないので、今後、入居募集をするのか伺いたい。というご質問でございました。

市営住宅を所管します都市建設部から回答をいただいております。東部4地域の市営住宅については、今年度から随時に募集することとしており、戸井地区においては、4月から小安西団地と浜町西団地の2戸の募集を開始しましたが、どちらの住戸も募集があり、既に入居しているところであります。

そのため、5月下旬からはさらに小安西団地の1戸を募集しているところでありますが、今後募集する住戸については、これまでの応募状況や修繕に要する費用を考慮しながら、決定してまいりたいと考えております。ということで回答をいただいております。

なお、この5月下旬から募集しております小安西団地1戸につきましては、今日現在、まだ応募がありませんので、引き続き募集中となっており、「市政はこだて8月号」にも募集記事を掲載されていることになっております。

以上でございます。

(小園課長挙手)

松田会長 小園産業建設課長

小園産業建設課長 産業建設課の小園です。

私の方からは、前回の地域審議会でも松永副会長からご質問がありました海洋調査について、ご説明させていただきます。

資料1の2ページ目をご覧ください。

質問の内容といたしましては、コンブ等の海藻資源が減少している中、海の環境が変化していると考えられるが、主として海洋に関する調査を実施しているのか、また、その内容はどうかというご質問でございました。

回答といたしましては、戸井地域だけでなく全市的な天然コンブの漁獲が平成28年に大幅に減少しておりまして、その後回復をしていないということでございます。

その要因といたしましては、平成28年1月の爆弾低気圧の影響でコンブが大規模に流出してしまったということ。また、その流出の影響によってコンブとコンブを餌としているウニ等のバランスが崩れているということ。そのほかにも砂の移動や堆積によるコンブの着生への影響や、豊富な栄養塩を運ぶ沿岸親潮の流入状況の変化等が考えられるところ です。

このように、平成28年をさかいに大きく水揚げが減少しましたが、天然コンブの繁茂状況が比較的良好であった平成27年度以前の海洋環境のデータが無いということから、比較ができないということもありまして天然コンブ不漁の調査は行っていませんが、不漁の対策として各地域においてコンブの母藻設置や種苗投入のほか、岩盤清掃なども行われております。

また、本年度からの取組といたしまして、砂の影響を受けにくい形状の藻場礁を設置する予定があります。これは、南茅部で試験的に設置をしております良好な状況であるもので、本年度は小安地区に設置をする予定ですが、その状況が良ければ他の地区にも設置できるよう北海道と調整をしたいと考えております。

また、現時点での海洋調査の内容といたしましては、渡島地区水産技術普及所や函館水産試験場と連携をしながら、水温の計測や沿岸親潮の流入情報の把握に努めているところです。

最後に補足ですが、北海道の調査ではありますが、潜水や空中撮影による藻場類の繁茂状況ですとか、海底基質の調査等を行うことによって、平成29年度に藻場ビジョンというものを作成しております、戸井地区の藻場減少の要因についても調査されています。

この調査の中で、要因としましては波浪による流出のほか、砂の影響、ウニ類の食圧、雑海藻の進入などが挙げられているところでございます。

以上でございます。

松田会長 ただ今、担当課から説明がありました。

ご質問などございませんか。

なお、発言される方は、ご起立のうえ発言して下さい。

ございませんか。

松田会長 それでは、無いようでございますので、議題の2番目平成30年度事業報告について、各課長から説明をお願いいたします。

(井上地域振興課長 挙手)

松田会長 はい。井上地域振興課長

井上地域振興課長 地域振興課長の井上です。

平成30年度の事業実績報告についてご説明いたします。

資料2 事業実績一覧の資料をご覧ください。

こちらの資料は、合併建設計画の平成30年度の事業実績をまとめたもので、1ページ目は、事業実績の総括表となっております。

この総括表は、合併建設計画の5つの基本目標に係る主要施策ごとに、総額と函館市全域を対象とするもの、戸井地域を対象とするものに分けて掲載しております。

一番下の欄になりますが、計画全体総額では、予算額262億5,206万5千円に対し、実績額217億2,869万6千円となりました。

このうち戸井地域に関しては、一番右の欄になりますが、予算額9,347万6千円に対して、実績額は8,792万8千円となりました。

2ページ以降は、事業ごとの状況を記載しておりますので、戸井地域の実績について、各担当課長から説明いたします。

まず、地域振興課所管の事業について、引き続き、私の方から説明いたします。ページをおめくりいただき、3ページ「2. (3) 交通・情報ネットワークの形成」の一

番下、「その他の関連事業の推進」で予算額1,782万6千円に対し、実績1,788万円となっております。

その内訳は、備考欄に記載しておりますが、戸井地域福祉バス運行経費が376万6千円となっており、主に小中学校の行事やふろの日の送迎などに使用されました。

また、教育委員会所管の戸井スクールバス運行経費が1,411万4千円となっており、幼稚園、小中学校の送迎バス2台分の運行経費となっております。

次に同じページの「(5)生活環境の整備充実」の2段目、「下水道の整備」では、企業局の所管ですが、下水公共枿の設置を見込んでいた予算額100万円に対し、実績は無かったものでございます。

私からは以上です。

(黒田市民福祉課長 挙手)

松田会長 黒田市民福祉課長

黒田市民福祉課長 市民福祉課長の黒田でございます。

私からは、外出支援サービス事業について説明いたします。

4ページをお開きください。

(3)高齢者福祉の推進の上から7行目「その他関連事業の推進」のうち、戸井地域では、「戸井地区外出支援サービス事業」を行っており、これは、戸井地区に居住する一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、心身障害者世帯の方で、歩行困難な方などを対象に、自宅から戸井地区および旧函館市内の医療機関等まで移送するサービスであります。社会福祉協議会に委託して実施しております。

平成30年度の予算額430万5千円に対しまして、実績額407万4千円となっております。

また、事業の利用状況といたしましては、平成30年度の稼働日数は239日、延べ利用人数は1,577人となっております。

私からは以上です。

(小園産業建設課長 挙手)

松田会長 小園産業建設課長

小園建設課長 産業建設課長の小園です。

私からは、産業建設課所管の事業実績について、説明させていただきます。

資料、2ページ目をお開きください。

「1多様で力強い産業を振興するまちづくり」の「(2)水産業の振興」の「漁港の整備」に関して、戸井地域内の実績についてですが、予算額864万円に対して、実績額944万8千円となっております。これは、北海道が事業主体となり、農山漁村地域整備交付金事業として、釜谷漁港の-4.0m岸壁新設工事のほかに-4.0m泊地浚渫などを実施した事業の負担金として支出をしたものです。

このほか、漁港の整備事業としては、市の負担金がありませんので、資料には掲載し

ておりませんが、小安漁港の浚渫工事を実施しております。

次に、2行目の「漁場の造成」では、予算額940万円に対して、実績額873万3千円となっております。

これは、北海道が事業主体となり小安地区にキタムラサキウニを対象魚種として、囲い礁0.66haを整備したものでありまして、総事業費約8,733万円のうち、その10分の1を市負担金として支出したものであります。

次に、その下4行目の「ウニ・アワビ種苗等放流」であります。予算額2,154万5千円に対して、実績額1,935万9千円となっております。これは、戸井漁協が事業主体となって実施しましたアワビ種苗放流事業・ウニ深浅移植事業に対して市が補助金を支出した668万8千円と、戸井ウニ種苗センター運営費1,267万1千円の合計額となっております。

放流数等につきましては、資料の備考欄のとおりであります。

次に、「水産業の振興」の下から5行目にあります「漁業近代化施設の整備」であります。予算額109万5千円に対して、実績額109万円となっております。

これは戸井漁協が事業主体となり、小安、釜谷、汐首、戸井の各漁港に計14台の監視カメラを設置したもので、事業費218万円のうち、市が2分の1を補助したものであります。

次に、「水産業の振興」の一番下段にあります、「その他関連事業の推進」であります。予算額35万6千円に対して、実績額35万5千円となっております。

これは、戸井漁協に事務局があります「戸井の海を豊かにする会」におきまして、漁場の岩盤清掃、コンブの母藻設置などの藻場の保全事業を実施したもので、事業費236万6千円のうち市の負担金として支出したものであります。

次に、「(3) 農林業の振興」上から3行目の「市有林等の整備」であります。予算額150万9千円に対して、実績額134万6千円となっております。これは、浜町地区旧戸井高校付近の市有林の下刈りと、瀬田来町地区市有林の保育間伐を実施したものであります。

3ページをお開きください。

「2安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」「(2) 消防・防災・生活安全の充実」の下から3行目にあります「小規模治山事業」であります。予算額590万円に対しまして、実績額492万5千円となっております。これは、新二見町地先に、網張工および排水工を実施したものであります。

次に、「(3) 交通・情報ネットワークの形成の上から2行目の「生活道路」の整備であります。予算額2,100万円に対して、実績額1,981万8千円となっております。これは、市道小安・釜谷線の舗装工事費でありまして、平成30年度につきましては、平成29年度から引き続き汐首町側国道手前までの約470mと石崎町側国道手前から上小安バス停付近までの約310mの2カ所、計778mを実施しており、これをもちまして全線舗装工事が完了いたしました。

以上で、産業建設課所管の事業説明を終わります。

(佐藤教育事務所長 挙手)

松田会長 佐藤教育事務所長

佐藤教育事務所長 教育委員会戸井教育事務所の佐藤でございます。

私からは、戸井教育事務所の所管事業の実績について説明いたします。

資料の4ページをお開きください。

一番下の行になりますが「4いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」「(1)生涯学習の推進」「その他関連事業の推進」では、予算額90万円に対して、実績額は予算額と同額となっておりますが、これは道南駅伝競走大会を運営する実行委員会への負担金となっております。

なお、選手の参加状況は、前年度から11チーム減少し、118チームが参加しました。

これは、昨年10月に発生しました台風の影響により、順延となっております北海道中学校駅伝競走大会と日程が重複し、中学生の欠場が多かったことに因ります。

私からは、以上でございます。

松田会長 説明が終わりました。

皆さん、ご意見等ございませんか。

ございませんか。

松田会長 無いようでございますので、議題の3番目地域振興全般に関する意見交換となっておりますが、企画部計画調整課の職員におかれましては、この後、南茅部地域審議会にも出席される予定となっておりますので、ここで退席をさせていただきますので、ご理解をいただきたいと思っております。

それでは、地域振興に関してご意見、ご提言あるいは、戸井地域の要望等ありましたらよろしく願いいたします。

ご意見等ございませんでしょうか。

細田委員 これから台風の時期になるが、去年は自主避難の防災行政無線放送を良く耳にしましたが、避難する場合は自分で避難所に行くことになると思いますが、避難所まで距離があり、車などが無い方等から避難所まで送迎してほしい等の連絡は今までなかったですか。

泊澤主査 自主避難の関係でございますが、これまでも避難勧告、高齢者避難準備情報等発表させていただいていますが、基本的には自ら避難所に避難をしていただくこととなっております。

支所で送迎となると、避難所に2名の職員を配置したり、窓口業務のための職員や見回り等の職員等を考えますと支所だけでは動ける職員が居ないというのが現実でございます。

原木二見町会では、町会の役員の方が地域会館に集り、車などが無い方は地域会館に電話をすると、町会役員が避難所まで送迎をするという取組をしているところもございます。

支所職員ということになりますと、限られた人数ですので避難所までの送迎を行うと

いうのは、難しい現状でございますので、そういう方は地域で送迎をしていただくことを考えていただきたいと思います。

細田委員 避難して、翌日まで避難所に泊まるといった場合、避難所運営は何処が行うのか。

泊澤主査 避難所の運営のご質問ですが、台風や大雨など、前もって予想ができるものについては、職員が避難所開設前までに配置を完了し、避難解除まで職員が避難所の運営をしています。

松田会長 市で避難行動要支援者制度がありまして、高齢者、障害者や介護度の高い方などを対象に災害時の避難行動に支援が必要であると申請されると、各町会に名簿が送られてきています。

町会では、これらの名簿に記載のあった方々の避難時に支援する方を決めて、避難する場合には支援者が避難所まで送迎しています。

また、汐首町会では、この方々以外の方々も避難する場合、一緒に避難所まで送迎をするようにしています。

細田委員 会長の汐首町会はそうですけれども、各町会にもそういう名簿があるんですか。

泊澤主査 ただ今、避難行動要支援者名簿についてのご質問でございますが、介護度の高い方や、障害者などの方に市から災害時支援が必要な方に対して、支援を希望する方は申請書を提出してもらおうよう該当者に対して郵送をしています。

市では、この災害時支援の申し出があった方々の避難行動要支援者名簿を作成しまして、支援団体に対してこの名簿を交付し、支援団体ではこの名簿の方々に対して避難する時に、避難支援をする方を決めていただいて、避難時には一緒に避難行動を行ってもらうことになっております。

戸井地域の支援団体につきましては、各町会が支援団体となっております。

細田委員 今、避難所は災害毎に避難所を指定しているが、避難所の看板が今までであれば何の災害の避難所か分からなかったが、この度、新しい看板を設置していただいたら、何の災害に対応した避難所がわかりやすくなりましたので、ありがとうございました。

松田会長 他に何かございませんか。

内容でございますので、議題の4番その他でございます。

(井上地域振興課長 挙手)

井上地域振興課長 地域振興課長の井上でございます。

私から、来年度以降の東部4支所管内の意見聴取についてお知らせいたします。

本日開催の地域審議会は、平成16年の合併に伴いまして、市町村合併の特例に関する法律に基づいて設置をさせていただいているところですが、この設置期間ですが、令和2年3月31日までとなっております。

東部4支所管内では、旧市域に比べ高齢化や過疎化が進行しており、引き続き地域振興に取り組んでいくことが重要であると考えますことから、本審議会の設置期間終了後におきましても、地域の方々からご意見をいただく機会として、4支所管内で共通で1つの懇談会を設置したいと考えております。

この懇談会ですけれども、東部4地域の共通の課題や地域振興などについて議論し、地域のまちづくりに繋げることを目的とするもので、詳細につきましては、これから決定していきたいと思っておりますので、ご報告をいたします。

以上でございます。

松田会長 ただ今、今後の地域審議会について報告がありました。

これにつきまして、何かご意見がございませんか。

今後の地域審議会だけでなく、その他にも何かございませんか。

加藤（聡）委員 旧市内に比べて、戸井地域は公園など子ども達が遊ぶ場所が少ないと感じております。

戸井西部総合センターで遊んでいる子ども達を見ていても、ロビーでゲームをしたり、講堂でバドミントンをしていても天井が低いのでシャトルが天井にぶつかって思い切り遊べていないように感じています。

今度、閉校となる学校のグラウンドや体育館等を解放して子ども達が遊べるようにしていただけるようお願いいたします。

松田会長 佐藤教育事務所長

佐藤教育事務所長 今、ご意見がございました子ども達の遊び場の関係で、閉校となる校舎の活用というご意見をいただきましたので、今、統合準備委員会を立ち上げ令和3年4月開校に向けて進めているところであります。

閉校となる学校の有効活用というところも考えていくこととなりますので、教育委員会の担当部署に地域審議会において意見があったことを伝え、検討していただくようお願いさせていただきたいと考えております。

松田会長 その他、ございませんか。

加藤（千）委員 戸井バイパスの歩道まで、イタドリが垂れ下がっており、歩道を歩かないで車道を歩いている方や、車を運転していて旧道からバイパスに行く時に視界が狭くなって良く見えない状況となっている。

こういう時期になったら、もうすこしこれらの刈り取りをお願いしたい。

松田会長 国道の関係となると、開発建設部となりますが、小園産業建設課長

小園産業建設課長 国道の管理となりますので、私の方から国の方にこまめにやっていただくよう伝えたいと思います。
以上です。

松田会長 ただ今の説明で何かございますか。
無いようでございますので、その他ございますか。

松田会長 その他、ございませんか。

(ありませんの声)

松田会長 以上を持ちまして本日の会議は全て終了いたしました。
次回の開催は11月を予定しておりますが、日程や議案内容については、正副会長に一任願いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(はいの声)

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。

会議顛末を記載し相違ないことを証するために、ここに署名する。

会 長

副会長